

文学者の様々な  
愛のかたち

# 愛 の手紙展



▲有島武郎から妻安子へ  
【大正四年二月十日】

## 愛する人へ

島崎藤村  
谷崎潤一郎  
斎藤茂吉  
太宰治

## 妻へ

夏目漱石  
有島武郎  
芥川龍之介  
室生犀星

## 家族へ

森静男  
与謝野寛・晶子  
里見淳  
有島武郎

## ■会期

2012年4月21日[土]~5月27日[日]

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
会期中無休

## ■会場

新潮社記念文学館

[主催]仙北市・仙北市教育委員会

[協力]日本近代文学館

[監修]中村稔(日本近代文学館 名誉館長)・十川信介(日本近代文学館 副理事長)

[観覧料]一般(高校生以上)300円 ※20名以上は団体割引有

[問合せ先]新潮社記念文学館

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23 電話 0187-43-3333

文学者の様々な愛のかたち

# 愛の手紙展

夏目漱石、芥川龍之介、太宰治などの文学者が恋人、妻、家族などに宛てた手紙の展覧会です。

本展は、日本近代文学館（東京都目黒区駒場）のご協力により、明治以降の文学者の手紙を直筆で鑑賞していただくものです。

書簡のほか、文学者ゆかりの品も多数展示します。どうぞご来場ください。



有島武郎から妻安子宛書簡  
妻は結核に倒れ、平塚の杏雲堂病院に入院。有島は西欧の少女肖像などの絵葉書を用い、妻を慰める幾百通もの手紙を書いた

## 愛する人へ

- 島崎藤村から加藤静子へ
- 谷崎潤一郎から根津松子へ
- 斎藤茂吉から永井ふさ子へ
- 太宰治から山崎富栄へ

## 妻へ

- 夏目漱石から鏡子へ
- 有島武郎から安子へ
- 芥川龍之介から文へ
- 室生犀星からとみ子へ

## 家族へ

- 森静男から長男鷗外へ
- 与謝野寛・晶子から子供たちへ
- 里見弴から兄有島武郎へ
- 有島武郎から母幸子へ



森静男から長男鷗外宛書簡

鷗外は、明治17(1884)年ドイツ留学に出发、ライプツヒヒ、ドレスデン、ミュンヘン、ベルリンで衛生学の研究や陸軍医事の研修にしたがい、明治21年帰国した。長男の出世と無事を願う家族は、その間、故国や家族の状況を報らせ、また鷗外の安否・近況を問うために実に熱心に手紙を送っている



室生犀星愛用の水滴



与謝野晶子と子供たち



芥川龍之介愛用のペンとインク壺

地図

